

## 第1学年4組 国語科学習指導案

日時 平成21年11月10日

場所 東出雲町立東出雲中学校 図書館

授業者 T1 教諭 野津 明美

T2 学校司書 実重 和美

### 1 単元名 「暮らしに生かそう 江戸の知恵」

教材 「江戸からのメッセージ」光村図書 P144

関連教材 「読書活動 図書館を利用する」光村図書 P152

「わかりやすく説明しよう」光村図書 P48

「言葉を探検する 調べたことを発表する」光村図書 P178

「提案のしかたを工夫しよう プレゼンテーション」光村図書  
2年 P98

### 2 単元の目標

- ・(関心・意欲・態度) 江戸時代の人々の知恵を調べることを通して、自分たちの生活に関心をもち、積極的に自分たちのよりよい生活を考えることができる。
- ・(話す・聞くこと) 暮らしの工夫について、相手にわかりやすく話したり、自分の考えと比べながら聞いたりすることができる。
- ・(読むこと) 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。

#### ★重点をおく情報リテラシー

(2009年度 東出雲町「情報・メディアを活用する学び方の指導体系表」より)

- 5. 情報の集め方 ・課題に応じた各種メディアを利用する。
- 8. 記録の取り方 ・資料の要約ができる。
- 9. まとめ方 ・伝えることを意識して効果的にまとめる。
- 11. 発表 ・効果的な方法で発表する。

### 3 学習の基盤 (生徒観は省略)

本教材は、二百六十年、二世紀半という長い間、平和が続いた「江戸」という町で、自分たちの知恵で魅力的に生きた「江戸っ子」たちの生活の様子を紹介した文章である。江戸時代は、同時代の西欧諸国が戦乱に明け暮れ決して人々が暮らしやすい、生きやすい時代を送ることができないまま近代を招いたのに比べれば、驚異的な時代であったといえる。その平和な江戸時代の中で、生活の工夫に満ちあふれた美しい環境の整った町を作り出した「江戸っ子」の暮らしぶりについて本教材を読むことで、現代の自分たちの生活を見つ

め直す一つのきっかけになるであろう。

すでに小学校の社会科6年「江戸の文化をつくりあげた人々」の単元で、江戸時代のリサイクルについて、国語科5年「伝え合って考えよう」の単元で、『人と「もの」のつき合い方』資料『ごみ問題ってなあに』の教材で江戸時代のごみ問題について、学習している。中学校では、さらに図書資料を充実し、またリサイクルやエコ問題だけに限らず、「江戸しぐさ」などにみられる思いやりやマナー、交通や住居など町全体の仕組み、エネルギー等視野を広げて考えさせ、現代社会への提案につなげたい。

本単元は教科書では読書教材として扱われているが、その文章の内容を生かして江戸の生活について多方面から調べることと、そこから自分たちの生活を比較し現代社会への提案を考えさせるのに適した教材であると考えた。

図書館活用に関しては、中学校に入学し、一学期は総合や学活の時間に利用指導や基本的なスキル指導を行った。国語科では、図鑑を使っての学習や読書指導を行っているが、必要な情報を自分で見つけ集める授業はまだ多くはない。二学期は、まず古典「竹取物語」の教材で、図書資料をつかった調べ学習、マッピングを使ったわかりやすい発表とミニプレゼンテーションを行った。今回の授業では、調べたことの発表のみでなく調べたことをいかして自分たちの考えを述べるという学習を取り入れた。「江戸の生活の知恵」という知識を習得し、その知恵を活用し、自分たちの生活に取り入れる工夫を探求する、という学習過程を設定した。

司書と相談し、グループごとに考えさせるテーマは、現代社会に提案しやすい職業・住まいや道具・江戸しぐさと文化・食生活とエネルギーの4テーマに絞った。図書資料の別置はせず、自分で書架から資料を探させたい。ただ1年生はまだ自ら適切な資料は探せないなので、司書にパスファインダーを作成してもらった。それを各自でがかりに資料をさがす。資料をみつけられない生徒には、個別にヒントも与えアドバイスする。

また調べた内容は、各自「情報カード」に記入させる。情報カードの書き方もまだ十分ではないので、あわせてここできちんと書き方の指導を行いたい。そして情報カードの整理を行って、そこから現代社会への提案を考える場を設定した。

発表は、各グループからみんなへの「生活の提案」としてプレゼンテーションを行う。同じテーマからの3グループの提案を比べながら聞くことで、相互評価や自己評価を取り入れた発表会を設定した。調べたことだけの発表では、資料の言葉をそのまま使って自分自身がよく内容を把握しないまま、発表することもあるが、自分たちの考えた提案発表なので、伝えることを意識して「じぶんたちの言葉」で発表できるように工夫させたい。今回は、学習の過程を細かく例示しながら、学習を進めたい。そこで「江戸の衣服」について見本を作り学習課題の説明等に使いたい。

本時は、各自が情報カードに集めた情報を整理し、提案内容を考えまとめる学習である。まず、見本を例示しながら学習内容を確認する。その後、グループ活動にはいるが、12グループあるので、限られた活動時間の中で教師がどのグループから支援に入るかが重要であると考えている。そのために毎時間グループごとの情報カードを回収し、進み具合や内容についてチェックしておく。情報は集まっているが、提案に結びつきにくいと思われるグループをT1がサポートする。情報カードが少なく、図書資料のあたり方が不十分だと思われるグループにT2がサポートに入るように、事前の打ち合わせを行う。話し合い

が進まないグループには、情報カードを使ってアドバイスを行いたい。

☆生徒たちに考えさせたい4テーマ

- ①職業（江戸は出るもの全て再利用）
- ②住まいや道具（江戸の町並み、たてもの・道具の工夫）
- ③江戸しぐさと文化（江戸の助け合いや楽しみ）
- ④食生活とエネルギー（江戸の食べ物や水・火・自然の工夫）

#### 4 単元の指導計画及び評価計画（全 8時間）

時間	学 習 活 動	国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	読むこと
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や学習課題を理解する。</li> <li>・本や江戸時代の基礎情報から「もったいない精神」や「人々の生活の工夫」を知る。</li> <li>・「江戸からのメッセージ」を読み、作者のメッセージをつかむ。</li> </ul>	本や事例から、日常生活に関心を持ち、調べたり考えたりしようとする意欲を持つ。		「江戸からのメッセージ」の要旨をとらえ、「江戸時代の生活の工夫」と筆者のメッセージをまとめている。。
5 本時 3/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとのテーマに沿って、江戸時代の知恵を図書資料から調べ、情報カードに書き込む。</li> <li>・そこから現代に学ぶべきことをみつけ、「自分たちの暮らしの工夫」を考え、まとめる。</li> </ul>	積極的に図書資料を活用して、調べ考えようとする。	グループ内で友達の調べたことや考えたことを話し合いながら、意見をまとめる。	パスファインダーを参考にして、必要な情報を見つけ要約し、情報カード・参考文献リストに記入することができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに選んだ江戸の知恵について発表し、そこから考えた「暮らしの工夫」を提案する。</li> </ul>	意欲的に発表会に参加できる。また身近な生活について、問題意識を持つことができる。	調べたことや考えたことをわかりやすく発表することができる。 自分の考えと比べながら、友達の提案をきくことができる。	

## 5 本時の学習

○目標 ・調べたことを整理して、そこから現代社会への提案を文章にまとめることができる。(読むこと)

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <p>-----            調べたこと（情報カード）            を整理して、現代社会への            暮らしの工夫を考えよう。            -----</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の作成した見本をもとに、情報カードの整理の仕方、ワークシートの書き方、参考文献リストのまとめ方を説明する。(T 1)</li> </ul>	
<p>2 グループに分かれて、各自調べた情報カードを内容ごとに集め、提案に必要なものを取捨選択し整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案が出しにくいグループには、情報カードから暮らしの工夫のヒントをアドバイスする。(T 1)</li> <li>・情報カードの整理の仕方がうまく出来ていないグループに修正のヒントをアドバイスする。(T 2)</li> <li>・提案がなかなか考えつかないグループには、視点を少し変えて、現代社会の問題点を扱った資料も紹介する。(T 1・T 2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの情報カードを読み、内容ごとに整理することができる。(情報カードの分け方)</li> </ul>
<p>3 グループで話し合いながら、文章化してワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことがわかりやすく画用紙にまとめるために、下書き用のワークシートの書き方をアドバイスする。(T 1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容から提案する内容をわかりやすく文章化できている。(ワークシート)</li> </ul>
<p>4 本時の学習の振り返りと次時の予告を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の良かったところを伝える。また改善点や工夫の仕方があれば、次時の学習に生かせるように伝える。(T 1・T 2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の自分自身の活動を振り返ることができている。(自己評価カード)</li> </ul>

○本時の具体的な評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒の具体例
<p>・伝えるということを意識して、読み取った情報や提案をわかりやすく表現している。</p>	<p>・読み取った情報を自分の言葉で表現している。</p>	<p>・情報を読み取っているが、自分の言葉で表現することが十分ではない。</p>

☆他教科等との関連

- ・社会科 歴史・江戸時代（3学期）
- ・総合的な学習の時間 「ふるさと、昔の道具コースなど」（2学期）
- ・道徳 江戸しぐさに学ぶ思いやり（3学期）